

令和8年度農研機構つくば植物工場シンポジウム
「施設園芸のデータ活用と経営戦略の最前線」開催要領

1. 趣旨

近年、施設園芸分野では、環境データや生育データを活用した栽培管理の高度化が急速に進展しています。一方で、先端技術の導入により超多収や高品質生産を実現することに加え、その成果を収益性の向上や事業価値の創出へいかに結び付けるかが、次世代の農業経営における重要な課題となっています。

本研修会では、「施設園芸におけるデータ活用と経営戦略の最前線」をテーマに、生産現場におけるデータサイエンスの実装、設備投資の評価、組織管理、さらにはM&A等の事業戦略までを幅広く取り上げます。技術論にとどまらず、強固な経営基盤を備えた次世代リーダーの育成を図るとともに、今後の産学官連携の新たな方向性を共有することを目的とします。

本シンポジウムは、農林水産省「令和8年度持続的生産強化対策事業のうち時代を拓く園芸産地づくり支援のうちスマート施設園芸展開推進事業」（受託：一般社団法人日本施設園芸協会）との共催により開催します。

2. 主催

農研機構 野菜花き研究部門

共催

（一社）日本施設園芸協会

3. 開催日時

令和8年11月30日（月）10:00～16:30（受付9:30から）

＊情報交換会：17:15～19:00（シンポジウム終了後、有料にて開催します。）

4. 開催場所

「TKP ガーデンシティ PREMIUM 京橋 ANNEX ホールA」

住所：東京都中央区京橋2丁目7-19 京橋イーストビル 5階、電話番号：03-6263-0617）

※「TKP ガーデンシティ PREMIUM 京橋」という別施設もあります。

間違わないようにご注意ください。

5. 内容

本研修会は、現場の環境・生育データに基づいた栽培管理と組織運営の実践知や、先端技術の現場実装とオープンイノベーション戦略、金融・投資家の視点から見たスマート農業の評価とM&A戦略について議論します。

※対面のみ（オンライン開催は致しません）

【10:00～11:00】自分たちで考えて作る施設園芸アプリケーション

分ち合ふ農園 宮崎 武士

【11:00～12:00】大規模施設園芸における現場視点のデータ活用と経営戦略

浅井農園 副社長 浅井洋平、トマトユニットマネージャー 勝部 尚隆

【13:00～14:00】施設園芸の事業戦略としての M&A という選択肢

大和フード&アグリ 藤田 葵

【14:00～15:00】施設園芸の最先端の研究成果と今後の実装について

農研機構野菜花き研究部門 礒崎 真英

【15:30～16:30】総合討論

(コンビナー) 農研機構野菜花き研究部門 東出 忠桐

6. 参集範囲

施設園芸生産者、関連事業者、行政機関、研究機関等（約 100 名まで）

7. 申し込み方法

参加は QR コードによる事前予約が必要です。



URL : [申し込みフォーム](#)

締切：令和 8 年 1 1 月 2 0 日(金曜日)

申し込み先着順で定員になり次第締め切らせていただきます。

8. 事務局および連絡先

(シンポジウム全体)

農研機構 野菜花き研究部門 施設生産研究領域 シンポジウム事務局

E-mail : pf-training@ml.affrc.go.jp

TEL : 029-838-8681 (大口、礒崎)

9. その他

本研修会の録画・録音・撮影はご遠慮ください。